



丹生谷 愛恵 にゅうのや まなえ

海と坂の街、長崎県長崎市に生まれ、温暖な瀬戸内（せとうち）の街、愛媛県松山市で育ちました。幼稚園の頃に箏（こと）の演奏を聴く機会があり、その音色（ねいろ）に心を奪われ、自分から「習いたい」と6歳の頃、近所の箏教室に通い始めました。練習するほど上達（じょうたつ）していくことがうれしく、「もっと上手になりたい!」と、どんどん箏にのめり込んでいきました。

現在は演奏家として、箏が持つ豊かな表現力と可能性をより多くの方に届けられるよう、西洋楽器や声楽、ダンスなど、ジャンルを越えた多彩（たさい）なアーティストと共演を重ねています。

- 東京藝術大学音楽学部邦楽科現代箏曲専攻卒業
- 第31回賢順記念全国箏曲コンクール賢順賞（最高位）
- 令和7年度より文化庁邦楽普及大使
- 公益財団法人正派邦楽会師範



前川 梢 まえかわ こずえ

八ヶ岳（やつかたけ）の麓（ふもと）、自然豊かな長野県茅野（ちの）市出身です。母が箏の演奏家・指導者をしている影響で、5歳から箏（こと）を始めました。母のお腹の中にいる時から箏を聴いていたそうで、始めた瞬間から「将来は箏を弾（ひ）く人になりたい!」と強く思い、今も変わらず続けています。箏ならではの透明感（とうめいかん）と温かみのある音色に魅了（みりょう）され、弾き方によって多彩な表情を生み出せることに楽しさを感じています。現在は箏の魅力（みりょく）や素晴らしい作品を、ご存知（ぞんじ）ない方にも届けられるよう、広い間口（まぐち）で活動しようと心がけています。

- 東京藝術大学音楽学部邦楽学科現代箏曲専攻卒業
- 第9回K邦楽コンクールホール審査部門第1位グランプリ受賞
- 公益財団法人正派邦楽会師範



小原 瑠里 こはら るり

豊かな自然と阿波踊（あわおど）りに彩（いろど）られた徳島県に生まれ育ち、幼い頃からピアノや合唱などに親しみました。13歳の頃通っていた学習塾（がくしゅうじゅく）は勉強が終わると箏（こと）も習えるというユニークな塾でした。そこで箏の音色に初めて触れ、やってみたいと思い、その後フルート専攻（せんこう）で入学した高校で留学生に箏を教えたことをきっかけに、本格的に箏に打ち込むようになりました。一人ひとりが持つ声のように音に個性が表れ、多彩な表現を生み出せるところが箏の面白さ。現在は、箏の魅力（みりょく）をより多くの人に届けられるよう、西洋音楽との共演に挑戦するほか、中・高生に向けた箏の授業など、音楽教育の場での活動にも取り組んでいます。

- 東京藝術大学音楽学部邦楽科現代箏曲専攻卒業
- 第31回賢順記念全国箏曲コンクール銀賞
- 沢井箏曲院教師



Program

さわい ただお
沢井 忠夫作曲

沢井 忠夫作曲

ひやみずの える
冷水乃栄流作曲

よしざき かつひこ
吉崎 克彦作曲

よみがえ いつ うた
「甦る五つの歌」（箏独奏）

ひやつかふ
「百花譜」（箏・十七絃）

さくら
「桜フラグメンツ」より（箏3面）

なみ たわむ
「波の戯れ」（箏2面、十七絃） ほか

※都合によりプログラムが変更になる場合もございます。
あらかじめご了承ください。
※コンサートは90分程度です。

Access

